

1. 交付金事業の名称            原子力・エネルギー教育支援事業

2. 交付金事業の事業主体      山形県

3. 交付金事業の実施場所      山形県

4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【山形県事業】

○実験器具・実験材料の整備

・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（長井高校、庄内総合高校）

ペルチェ式簡易霧箱、放射線測定器、等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（庄内総合高校）

火力発電実験模型、手回し発電機、風力発電実験器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

事業に要した経費      3,146,715    円

交付金充当額            3,146,715    円

5. 交付金事業の成果及び評価

・当事業により、原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備が目標80%に対して実績100%だった。

・実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、発電機の構造を理解したり、自然放射線の軌跡を観察したりすることで、原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、将来のエネルギー問題を自ら考え、判断するなど一層、理解が深まった。

・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標80%に対して実績100%だった。

・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として、高性能で有用な実験器具の整備により実験や体験を通した学習が実施できたことで、実験器具・実験材料の整備事業が促進されたと評価できる。